



学校教育目標

ふるさとを愛し 自ら学び 未来に
向かって挑戦する養父っ子の育成

教育方針

- ・ 郷土愛を育むとともに、21世紀をたくましく主体的、創造的に生きる資質や能力を身につけ、夢に向かって挑戦し続ける人間性豊かな児童を育成する。
- ・ 小中一貫教育研究事業を充実したものにし、知・徳・体の向上、地域の活性化、中1ギャップの緩和をめざし、9年間を見通した教育の創造に努めていく。

スローガン

やりぬく
助け合う
あいさつ

めざす子ども像

ねばり強く挑戦する子

- 自ら学びに向かう子
- 夢や目標に向かってがんばりやりぬく子

進んで学び考え支え合う子

- 基礎・基本を身につけ、自ら考え、表現する子
- お互いに認め合い、助け合う子

ふるさとに誇りを持つ子

- 校区の伝統文化・人々とふれあい、地域を愛する子
- 心も体も健康で、感性豊かな子

めざす学校像

- あいさつと歌声のひびき合う学校
- 互いに助け合い「ありがとう」があふれる学校
- 学ぶ楽しさ・伸びる喜びを実感できる学校
- 家庭や地域から信頼される学校

めざす教職員像

- 子どもを把握し、個性を尊重した指導ができる教師
- 互いに磨き合い、協働する教師
- 目標や課題に向かって主体的に挑戦する教師
- 児童・同僚・家庭・地域から信頼される教師

「心の通い合う学校経営」 -チーム養父-

- すべての子どもたちが、毎日笑顔で登校し、友だちや先生と楽しく過ごし「今日も養父小にきてよかった」と満足して帰る、心の通い合う学校づくりを推進する。
- 日々共通理解を図り、子どものため、仲間のために協働できる「チーム養父」の構築に努める。
- 情報を発信し、家庭・地域・関係機関との関係を築き、「地域に根ざした学校」「信頼される学校」をめざす。

重点実践事項

(1) 夢や目標に向かって、主体的に挑戦する態度を育成する。

- ◆教育活動全体を通じて行う組織的・系統的なキャリア教育の推進
- ◆「環境体験事業」や「自然学校」などの体験活動を重視したやぶ・ふるさとキャリア教育カリキュラムの推進
- ◆家庭学習の習慣化、特別活動、そうあんくんタイム、そうあんくんの日の取組の充実
- ◆国際理解教育、外国語活動の充実

(2) 「生きる力」を育む教育を推進する。

- ◆週4日のドリルタイムによる基礎基本の定着、兵庫型学習システムによるきめ細やかな指導、養父がんばりタイムによる思考力育成の推進
- ◆書く・話す力の育成、伝え合う授業づくり、指導方法の工夫改善による「ことばの力」の育成
- ◆多様な考えにふれ自己の考えを深める「対話」による道徳の授業の推進
- ◆朝読書、読書ボランティアによる読み聞かせなどで主体的・意欲的な読書活動の推進
- ◆アイマスク体験や老人施設の訪問等の系統的な福祉体験学習の推進
- ◆学級経営案のPDCAサイクルの活用、「Q-U」調査、「i-check」を活用することによる心の通い合う学級づくりの推進
- ◆特別な支援を要する児童についての共通理解を図ると共に、個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用したきめ細やかな指導の推進
- ◆体カテストの結果を基に「運動プログラム」の作成・活用
「運動遊び」「縦割り遊び」を通じた体力向上の推進
- ◆「手作り弁当の日」の実施を生かした食育の推進

(3) 子どもたちの学びを支える仕組みを確立する。

- ◆学校施設や通学路の安全管理
- ◆「学校防災マニュアル」に基づいた防災訓練の実施、児童が主体的に行動する防災教育の推進
- ◆いじめ・不登校・虐待などの未然防止・早期発見・早期対応に向けた、教職員の協働体制の確立
- ◆オープンスクール、学校・学級だより、HPを通じて積極的に情報発信するなど、開かれた学校づくりの推進
- ◆タブレットやスマートフォン、SNSなどの使い方に関するルールの徹底、DQの活用、情報モラル研修の実施
- ◆保護者や地域と連携した養父市「5つの生活習慣」の確立(早寝・早起き、食事、あいさつ、片付け、読書)
- ◆9年間の学びの連続性を意識した小中一貫教育の推進

(4) 学校・家庭・地域が連携し、ふるさとを愛する心を育てる。

- ◆地域教材や学校支援者の活用など、「やぶっこ夢プラン」等のふるさと教育の推進
- ◆生活科・総合的な学習の時間を通して、系統的なふるさと教育の実践
- ◆あいさつ運動を通じた人間関係づくりの推進
- ◆お年寄りとの交流、幼小中連携を元にした地域行事への積極的な参加体制の確立

(5) 教職員としての資質能力の向上を図ると共に、業務改善を推進する。

- ◆ベテラン教師の経験を生かした若手教師の育成など、互いに個性や能力を発揮できる職場づくりの推進
- ◆講師招聘、先進校視察、授業研究の実践など、校内研修の積極的な推進
- ◆新学習指導要領に基づく新たな課題の実践に向けた研修の推進
- ◆職員会議におけるペーパーレス化、定時退勤日の実施を図るなど、全ての教職員が主体的に参画した「学校業務改善」の推進により、児童と向き合う時間の確保及びワークライフバランスの充実